



2020年3月期決算説明会

2020年5月

日医工株式会社 代表取締役社長
田村 友一



日医工株式会社

感染拡大防止策の実施

国内外の感染状況、政府・専門家の見解を考慮した感染拡大防止策を実施

国内従業員（派遣社員含む）の勤務体制【全都道府県】

- ・ **スーパーフレックスタイム制**（コア無フレックスタイム制）
- ・ **特別休暇（有給）**を付与（小学校以下、特別支援学校の子を持つ親）
- ・ **ソーシャルディスタンス**を確保するために各部署の執務場所を分散して新たに設置し、接触密度を軽減させる

その他、感染拡大防止策、医療機関等への訪問、体調不良時の対応、濃厚接触者・感染者発生時対応について定めております。

生産拠点10拠点（日本7拠点、北米3拠点）は、通常稼働しております。

当社は、引き続きお取引先様および全社員とそこそご家族の健康と安全を最優先に感染防止策を実施しながら、医薬品の供給に努めてまいります。

2

臨床研究等への協力

国内外の治験協力のため「フサン®」を無償提供

東京大学の特定臨床研究 → [東京大学プレスリリース](#)

Oxford大学・Edinburgh大学による共同研究 → [Latus Therapeutics ニュース](#)

3

フサン®増産に向け、愛知工場に設備増強

4

アビガン®錠の製剤の製造受託

富士フィルムおよび富山県の増産要請を受け、アビガン®錠の増産協力

5

地域包括連携協定

ピュアハンドジェル（手指消毒剤）の寄付および感染症防止に関する講習

連結業績は増収減益 (エルメッド統合により増収も各種費用で減益)
 日医工グループ増収減益 (エルメッド業績寄与も薬価改定影響もあり減益)
 Sagentグループ減収減益 (印供給問題を新品目でカバー、将来のため内製化投資)

売上収益	(前年同期1,665億円) 1,900 億円	(+) 国内GE売上対前年 119.4% (-) 米国GE売上対前年 99.0% (+) エルメッドの連結子会社化による売上増加
コア営業利益	(前年同期133億円) 80 億円	(+) 国内市場増収に伴う粗利増加 (-) 薬価改定影響による粗利率低下 (-) 米国での研究開発費等への投資
親会社の所有者に帰属する当期利益	(前年同期68億円) 51 億円	(+) Aprogen株式売却益および評価益 (-) 米国での減損損失 (-) 自主回収費用 (-) トラスツズマブ売却損

期中レート (PL)

<円/ドル>

期末レート (BS)

<円/ドル>

2020年3月期1Q	109.90	2020年3月期3Q	108.76	今期予算レート	108.00	2019年6月	107.79	2019年12月	109.56
2020年3月期2Q	107.35	2020年3月期4Q	108.92			2019年9月	107.92	2020年3月	108.83

2020年3月期セグメント別業績（決算ベース）

(百万円)	日医エグループ				Sagentグループ				連結				計画
	前期	当期	増減額	伸長率	前期	当期	増減額	伸長率	前期	当期	増減額	伸長率	
売上収益	131,076	154,912	+23,836	118.2%	35,515	35,163	-352	99.0%	166,592	190,076	+23,483	114.1%	194,000
売上原価	101,321	126,875	+25,553	125.2%	32,113	25,881	-6,231	80.6%	133,434	152,756	+19,321	114.5%	155,000
売上総利益	29,755	28,037	-1,717	94.2%	3,402	9,282	+5,879	272.8%	33,157	37,319	+4,162	112.6%	39,000
販管費	16,450	19,670	+3,219	119.6%	6,054	5,944	-109	98.2%	22,504	25,614	+3,110	113.8%	-
研究開発費	2,050	2,431	+380	118.6%	1,453	1,830	+377	125.9%	3,503	4,261	+758	121.6%	-
その他の営業利益	571	310	-261	54.3%	957	-6	-963	-0.6%	1,528	303	-1,225	19.8%	-
その他の営業費用	455	2,465	+2,010	541.8%	0	2,407	+2,407	-	455	4,873	+4,417	1071.0%	-
コア営業利益	11,745	6,980	-4,765	59.4%	1,575	1,040	-535	66.0%	13,320	8,020	-5,300	60.2%	8,500
営業利益	11,370	3,780	-7,590	33.2%	-3,147	-907	+2,240	-	8,223	2,873	-5,349	34.9%	-

年間配当（予定）

30.0円

設備投資額

84億円

(2019.3実績50億円)

R&D投資

137億円

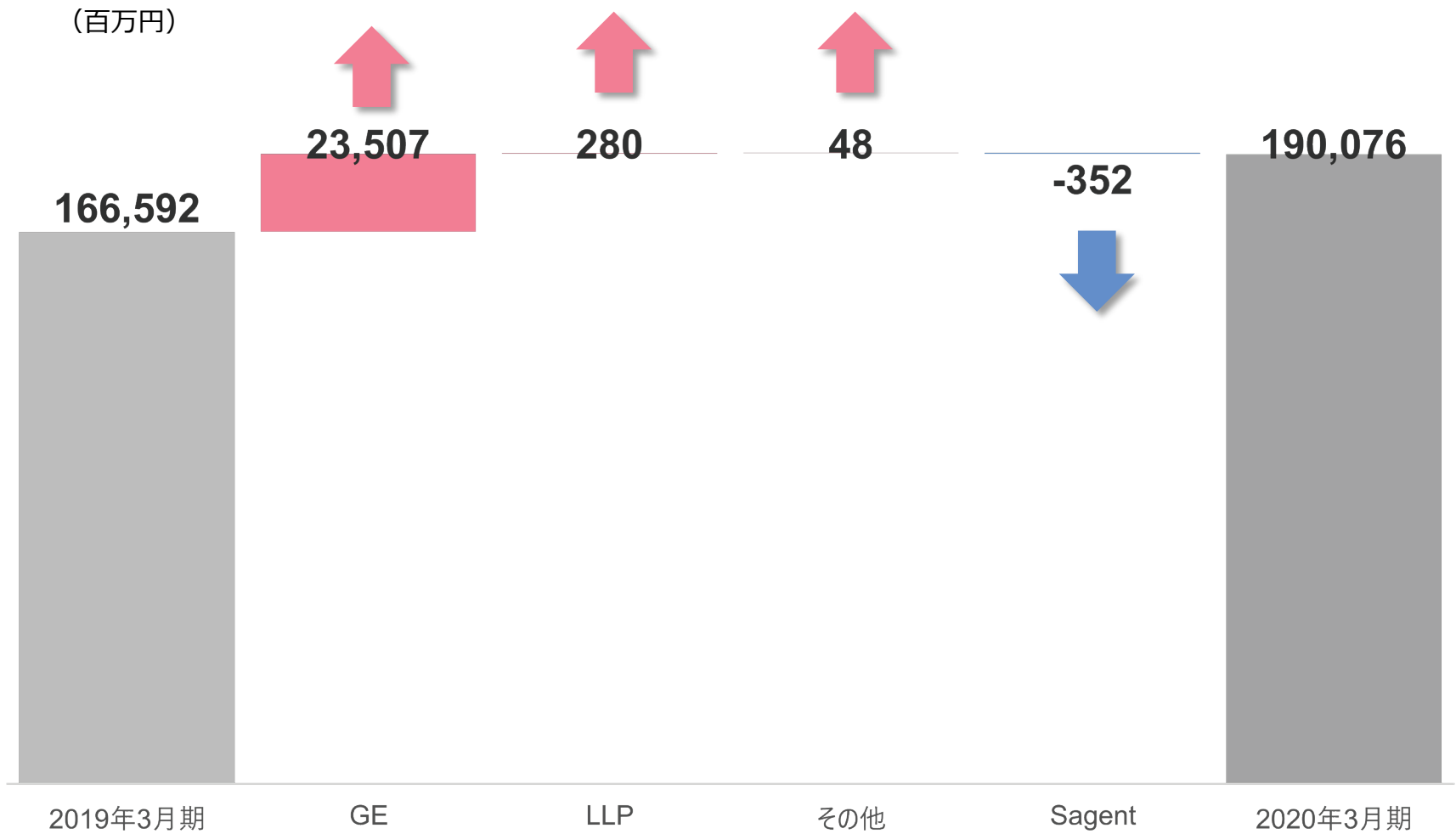
(2019.3実績100億円)

減価償却費

118億円

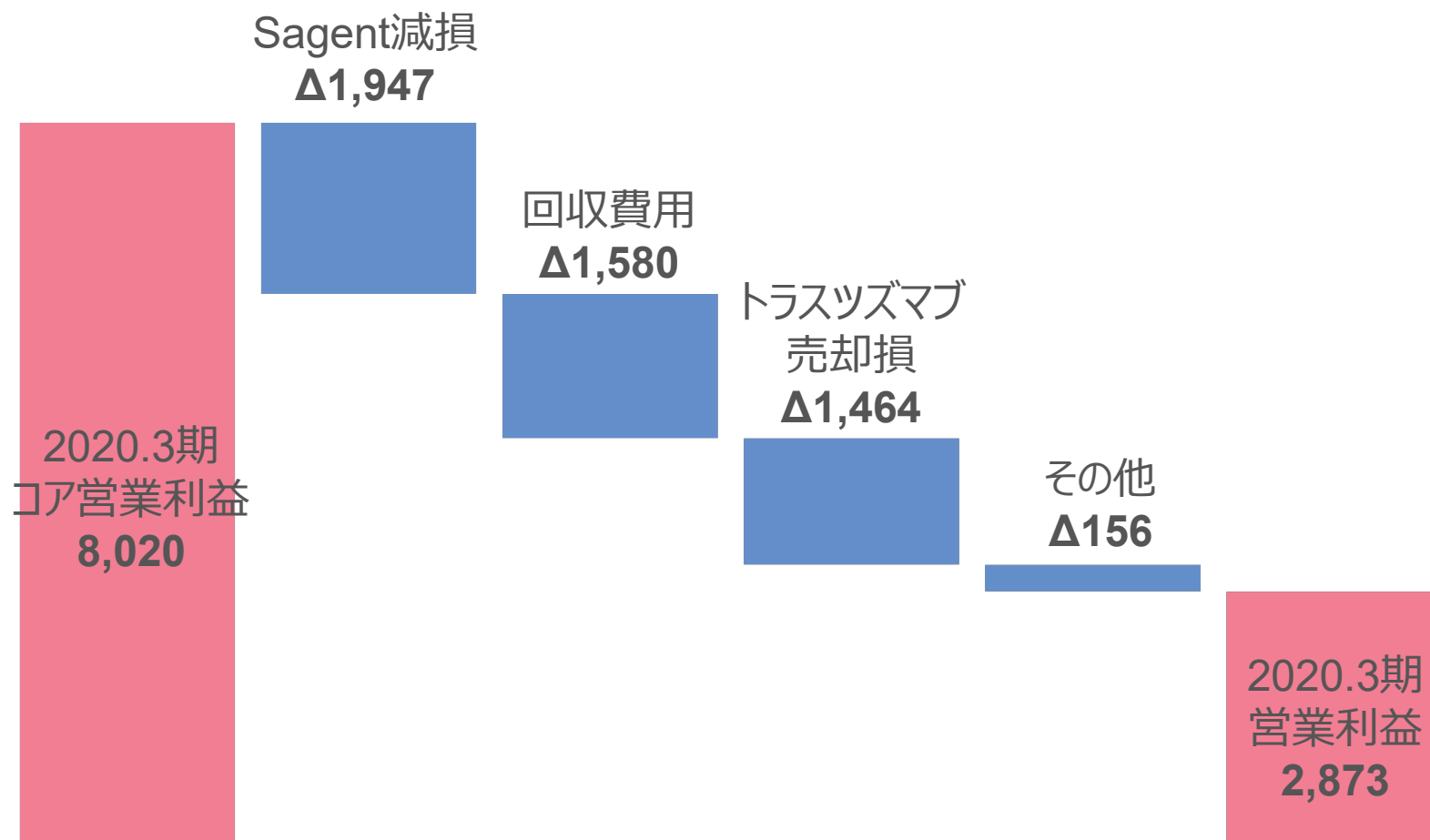
(2019.3実績94億円)

売上増減項目と要因分析 (IFRS)



コア営業利益と営業利益のギャップについて

(百万円)



リスク

成長に対するリスク

1. 毎年の薬価改定

2018年 4月 Δ12.6%

2019年10月 Δ7.6%

2020年 4月 Δ3.1%

<改定幅は徐々に減少>

2. GE使用促進の インセンティブ減少

2020年9月にジェネリック
医薬品の使用目標である
80%の時代を迎える

機会

成長のための要因

1. 大型品の特許切れ

2021.3期 4,400億円
・2020.2月承認 <エルデカルシトール>

2022.3期 2,200億円

2023.3期 2,900億円

※ 当社参入予定の先発市場規模、薬価売上
※ プレガバリン売上は上記に含まず

2. 参入社数の減少

適正価格による販売
Only One GEの開発

・2020.2月承認 <ピルフェニドン>

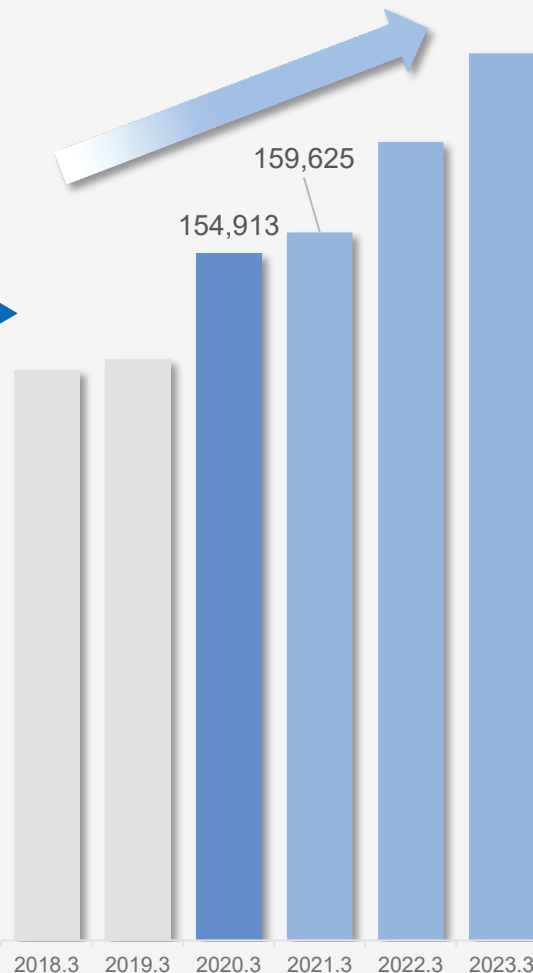
3. フォーミュラー普及

一定規模の供給体制を持つ
メーカーへさらなる集約が進む

4. バイオシミラー促進

使用促進策が待たれる中
ラインナップの追加中

ポスト80%時代も 持続的成長が可能



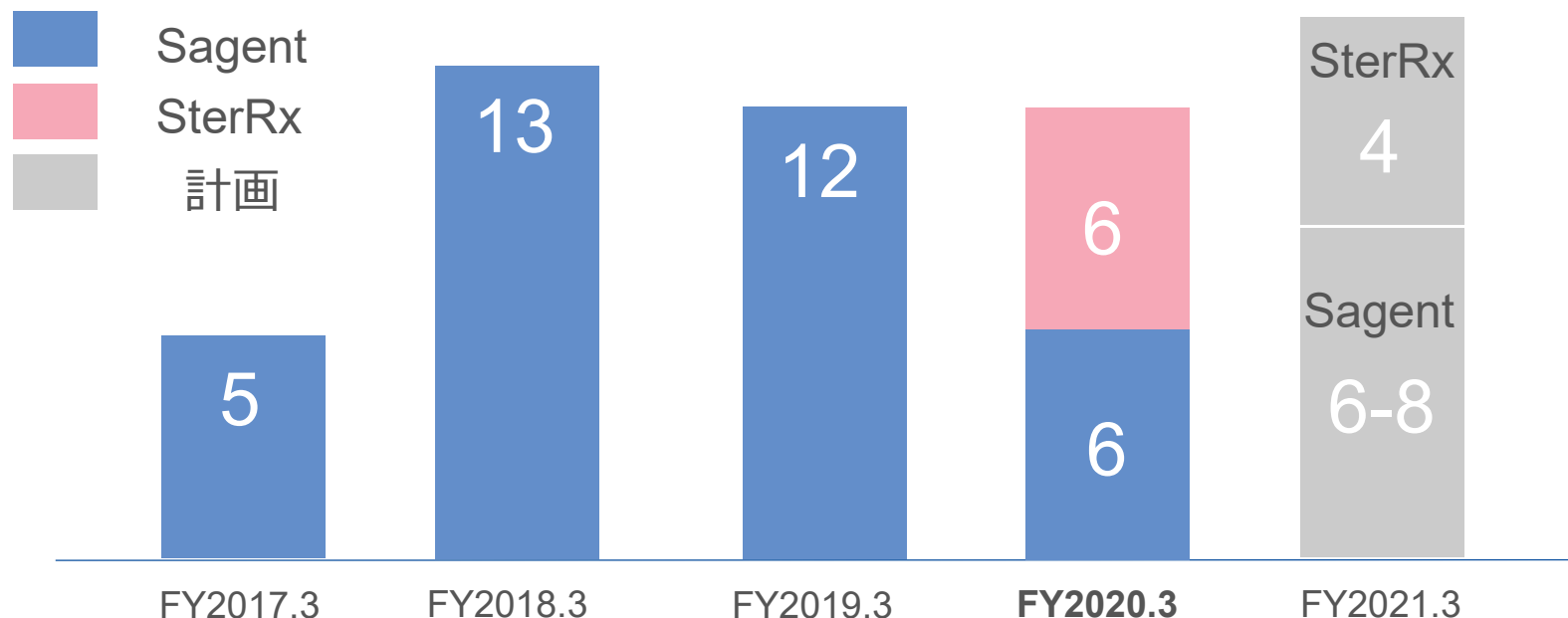
Sagentはフルベストラントが大きく伸長

6品目上市済、来期は6～8品目上市予定

SterRxは順調にラインナップ拡充中

6品目上市済、来期は4品目上市予定 ⇒ 増産に向けて設備増強

年代別上市品目数



Sagentのインド委託品目の内製化状況

2020年3月期

インド委託先
供給停止 **13**品目
売上△**30**億円

2021年3月期

供給再開予定品目数
5~6品目

2022年3月期

供給再開予定品目数
5~6品目

内製化スケジュール

1品目

Omega モントリオール工場
2020.3期 申請済

4~5品目 Sagent ローリー工場
2021.3期~2022.3期 申請

4~7品目 Omega モントリオール工場
2021.3期~2022.3期 申請

インフリキシマブBS

2020年 フェーズⅢ完了

CY2021 承認申請、CY2022 承認予定

<COVID-19影響によるスケールアップ生産の遅れ>

COVID-19
影響

BS戦略方向転換

トラスツズマブ（ハーセプチン®）

▶ ベバシズマブ（アバスチン®）フェーズ3

2021年11月に国内3番手として市場参入予定

市場環境
変化

成分	市場	市場規模（億円）	前臨床	フェーズⅠ	フェーズⅢ	申請・承認
インフリキシマブ	米国	4,000	フェーズⅢ完了			CY2021 申請予定
ベバシズマブ	日本	950	2020年9月申請予定			2020年9月 申請予定

2021年3月期 通期業績予想



(百万円)	2020年3月期			2021年3月期								
	通期			通期予想								
	日医工 グループ	Sagent グループ	連結	日医工 グループ	増減額	前期比	Sagent グループ	増減額	前期比	連結	増減額	前期比
売上収益	154,912	35,163	190,076	159,000	+4,088	102.6%	40,000	+4,837	113.8%	199,000	+8,923	104.7%
売上総利益	28,037	9,282	37,319	29,500	+1,463	105.2%	9,000	-282	97.0%	38,500	+1,180	103.2%
コア営業利益	6,980	1,040	8,020	7,500	+519	107.4%	0	-1,040	0.0%	7,500	-520	93.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益			5,133							5,200	+66	101.3%

年間配当 (予定)

30.0円

設備投資額

93億円

(2020.3実績84億円)

R&D投資

114億円

(2020.3実績137億円)

減価償却費

112億円

(2020.3実績118億円)

第8次中期経営計画の進捗報告



戦略1

事業領域のさらなる深化／進化

- ・メドピアとの業務提携、合併会社設立について

戦略2

徹底したオペレーション最適化の追求

- ・PMP 8によるコストシナジー

戦略3

グローバル水準の品質確保、競争力強化

- ・Sagent事業規模拡大
(BS、コンパウンドビジネス、オーファンドラッグ)

戦略4

ESG活動を基盤とした
ライフサイエンス企業としての信頼確保

- ・地域包括連携協定

『kakari for Clinic』 事業の提携

「kakari for Clinic」は患者様とクリニックを繋ぐ、かかりつけクリニック支援サービス
共同事業を推進することを目的に合併会社を2020年9月に設立してスタート予定
「オンライン診療・服薬指導」などのヘルステックにより社会的課題解決に貢献



かかりつけクリニック

オンライン診療・服薬指導の規制緩和

- ・医師の判断でオンライン診療を実施
- ・医療機関が薬局に処方箋をFAX送信
- ・薬局は調剤した薬を患者宅に郵送
- ・薬剤師はオンラインで服薬指導を実施



かかりつけ薬局



患者様・ご家族

クリニック PR	双方向 チャット	診療 予約
オンライン 診療	処方せん 送信	その他 機能

処方せん 送信	お薬相談	服薬 フォロー	電子お薬 手帳
オンライン 服薬指導	GE差額 レポート	嚥下 サポート	電子決済

2022年3月期までの**3年間**で累計**150億円以上**コスト削減を見込む
現時点で順調に推移している

1 製造収率

2 中間品廃棄

3 製品廃棄

4 原薬調達コスト

5 委託製造コスト

6 仕入商品コスト

7 PMI（製造所・原薬統合効果）

8 PMI（開発品統合効果）

PMP8

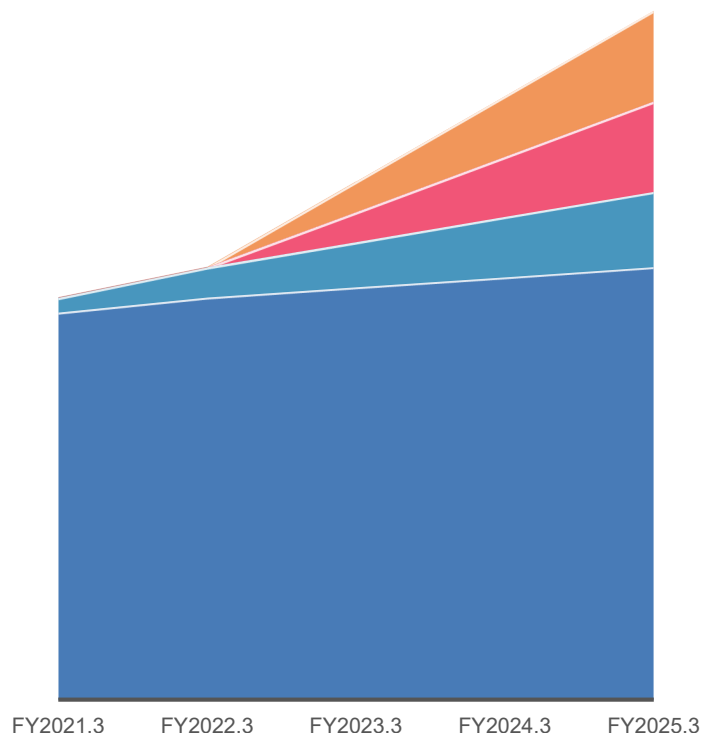
44億円

（2020年3月期）

150億円

（3年間累計）

低分子ジェネリックを柱に、バイオシミラー、オーファンドラッグ、コンパウンドと段階的に収益化させていく。



バイオシミラー

インフリキシマブBSのFDA申請に注力しながらも、ラインナップ拡充に候補品選定中

オーファンドラッグ

米国での治験に加え、東欧での患者募集を始め、早期市場投入を目指す

コンパウンド

着実にラインナップ増、増産対応

低分子ジェネリック

自社工場（オメガ、ローリー）に内製化を推進する

日医工グループは、これまでに10市と地域連携協定を結びました。
医薬品企業だからできる社会・地域の課題解決にこれからも取り組んでまいります。



滑川市 2019/08/23

松戸市 2019/08/30

富山市 2019/11/08

射水市 2019/12/06

高岡市 2020/01/17

いなべ市 2020/02/12

松阪市 2020/02/12

苫小牧市 2020/03/24

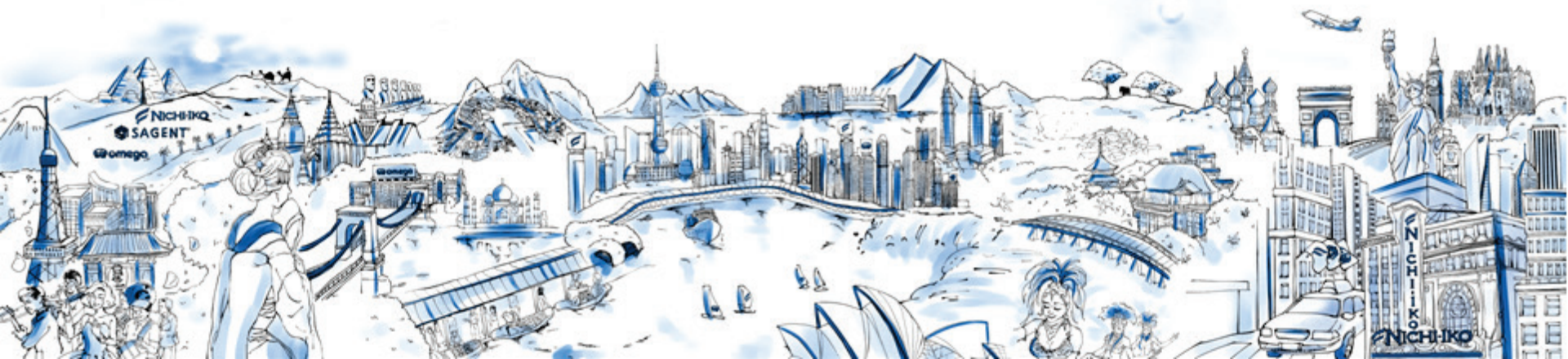
野々市市 2020/03/26

北広島市 2020/04/09



ミッションステートメント

我々は、我々のジェネリック医薬品が
世界の患者様とそのご家族・薬剤師様・お医者様・
卸売業者の方々・製薬企業の方々に必要とされ、
提供し続けるために自ら存続する努力を行い、
ジェネリックメーカーとして世界で卓越する。



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり 潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。